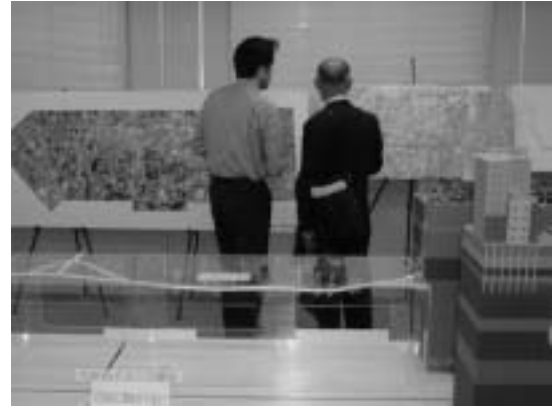


外環オープンハウスについて

会場名：三鷹市新川あおやぎ公園内ハウス

日時：9月24日（金）13:00～17:00

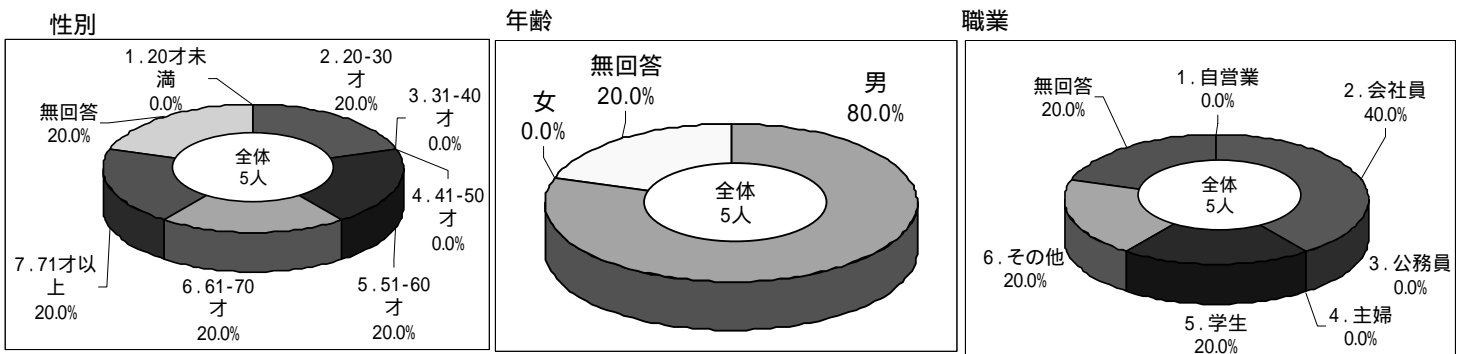
来場者：12人（男性：9人 女性：3人）



アンケートの結果概要について

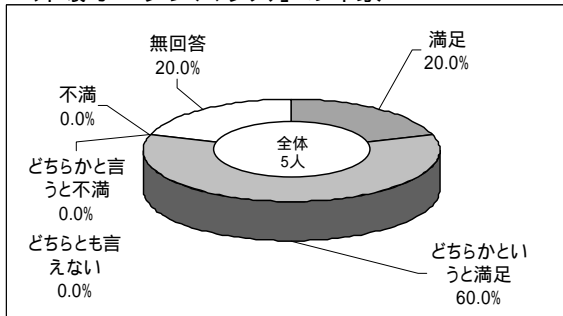
会場の様子

回答者属性

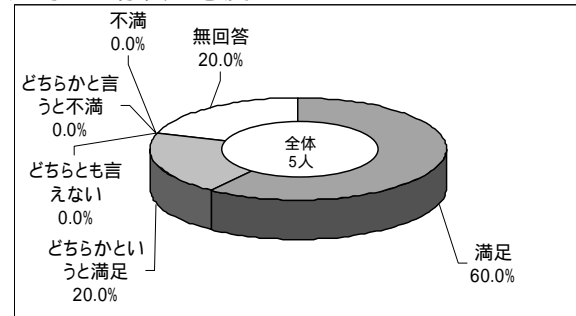


外環オープンハウスについて

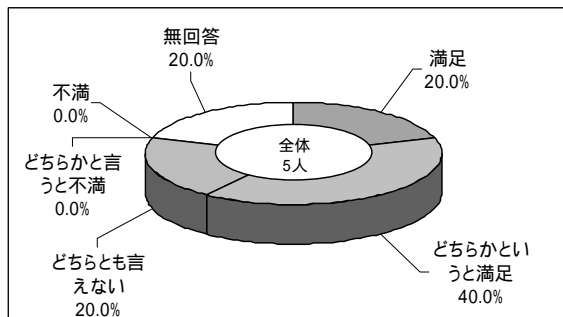
「外環オープンハウス」の印象



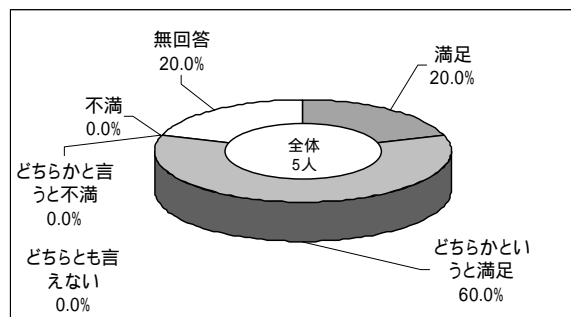
対応した係員の態度



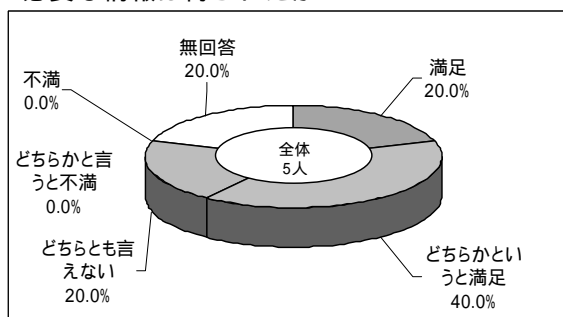
提供された情報の量



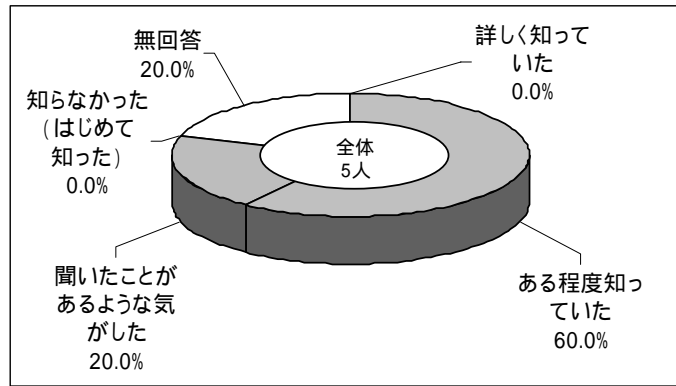
説明員の説明が理解できたか



必要な情報は得られたか

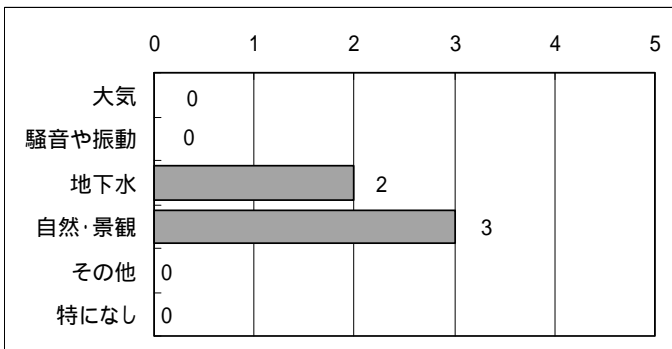


「PI外環沿線協議会」の認知度

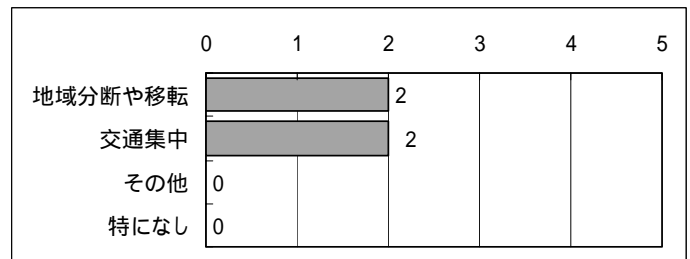


「PI外環沿線協議会」でより深く議論すべき項目

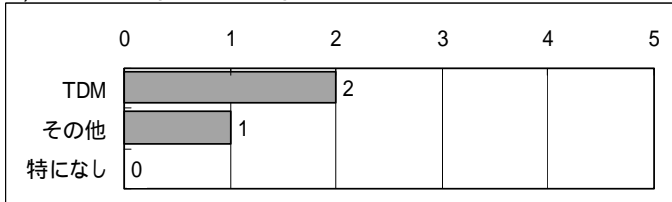
A) 環境への影響 (複数回答)



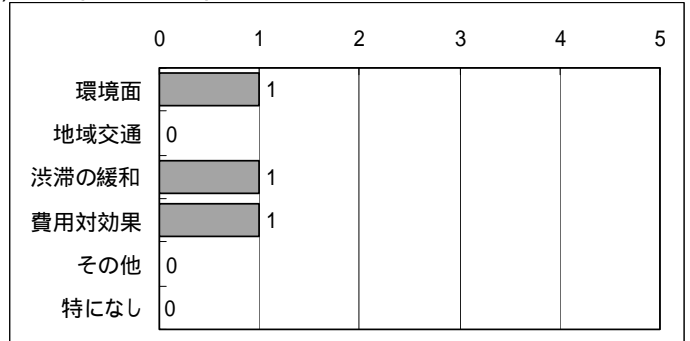
B) 生活への影響 (複数回答)



C) 交通政策 (複数回答)



D) 効果 (複数回答)



主な自由意見

二度目の説明会ですが、以前も同じような感じでした。もう少し具体的な情報が得られると良いのですが。あと、3~4年もこの場所で暮らして行かなくてはと思うと気が重くなります。今の家は売るに売れないし、とにかく1日も早く工事が始まることを希望しています。

オープンハウスの仕組みを一步進めて(外環以外で行われる/行われている取り組みも合わせて)「道路と環境との共存を考える」ということをテーマにした博覧会を開いてみては如何でしょうか(展示内容は、換気塔や地下水保護用の設備の実物大モデル、「エコロード」の効果を示すビデオ(映画?)の放映など)。オープンハウスの取り組みやイメージの展示も良いとは思いますが、実際に体感・実感できる方が、沿線環境を心配する方々にとって「納得のいく」説明になるような気がします。また、「公共事業」なら、やっても納得されるのではないのでしょうか。

要はどう環境が変わるかを知りたい。